

大医協独 ハートセンター ニュース No.14

一和温療法について一

(循環器・腎臓内科 山口すおみ)
(心臓・血管内科 豊田 茂)

和温療法 (waon therapy) の名をご存知でも、実際にご覧になられ、また体験された先生方はそれほど多くはないのではないかと思います。一見高温多湿のサウナに見えるこの機械 (図1)



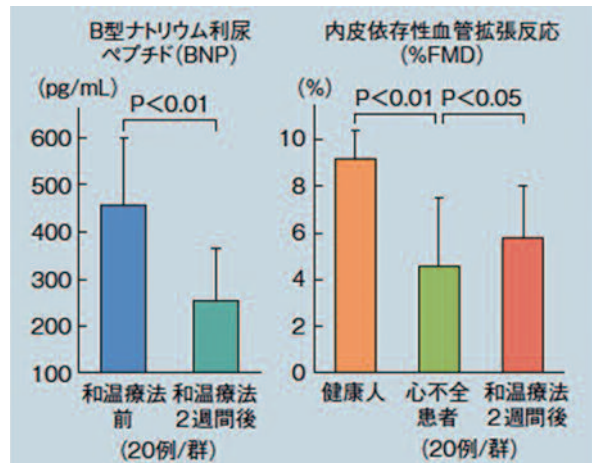
(図1)

ですが、設定温度60度、湿度20%の乾式低温サウナです。「心身を和ませる温度で全身を15分均等加温室で保温し、深部体温を1-2度上昇させたのち、さらに30分間の安静保温で和温効果を持続させ、終了時に発汗に見合う水分を補給する治療法」と定義されます。

慢性心不全をはじめ、閉塞性動脈硬化症などの治療に効果が得られています。日本循環器学会2010年度慢性心不全ガイドラインにおいて、和温療法はclass I (エビデンスから通常適応され、常に容認される) で推奨されています。当院でも2012年末に設置され、現在5例の慢性心不全患者様に治療中です。これまでに血管拡張による心負荷の軽減、血管新生による末梢循環の改善、精神的なリラックス効果、血管内皮機能改善と抗酸化作用、アポトーシスの抑制、酸化ストレスの改善等様々なメカニズムが関与していることが明らかとなっています。

臨床データでは和温療法によりBNPや内皮依存性血管拡張反応の改善が得られています (図

2は鹿児島大学より御提供いただいた資料)。私自身が和温療法を体験した感想ですが、じんわりと汗をかいた後に冷たい水をぐいっと飲む爽快感からは、およそ治療という感じがしませんでした。この治療は前鹿児島大学循環器・呼吸器・代謝内科学教授、現当大学特任教授である鄭忠和先生により開発された日本発祥の治療法です。重症心不全の患者様が「死ぬ前に一度風呂に入りたい」との願いをかなえるため、いかに心臓に負担無く入浴をさせるか研究され、その結果慢性心不全治療法として効果があることが分かり、現在のように簡易型に設置できるまで改良されてきたものです。医療面では、高度先進医療の適応ではありますが、保険適応にはなっておりません。現在保険適応をめざして他大学と協力し、臨床治験を中心に行っております。今後慢性心不全に対する治療法としてより多くの患者様に対応できるよう努力していきたいと思っております。



(図2)

当院での血管外科の実績と今後の展開 (心臓・血管外科 松下 恭)

今回は、心臓・血管外科の一翼をになう血管外科部門について説明させていただきます。当科では以前より人工心肺を使用した大血管手術はもとより、ステントグラフトを使用した胸部、腹部大動脈瘤に対する手術治療（本年は胸部、腹部大動脈瘤に対する治療を胸部大動脈瘤52例（ステントグラフト28例）、腹部大動脈瘤85例（ステントグラフト60例））、および末梢血管治療を行ってきておりましたが、2012年5月より、心臓・血管外科の血管外科部門専任として、獨協医科大学に松下、獨協医科大学日光医療センターに緒方が赴任いたしました。本年度は特に膝下の下腿血管病変に対する外科治療（バイパス術）、透析患者のブラッドアクセス困難例に対する血管内、外科的治療、静脈瘤の治療にも力を入れ、末梢血管疾患119例（昨年83例）、その他59例（昨年32例）の手術を行いました。

<動脈疾患>

下肢動脈に関しては、深大腿動脈形成術（血栓内膜除去術）、下腿動脈3分枝部の形成、バイパス術、また前脛骨動脈、後脛骨動脈、腓骨動脈末梢、足背動脈までのバイパス術を施行しました。そして、心臓・血管内科、循環器内科、また形成外科、内分泌代謝内科フットケア部門とも連携を取り、血管内治療とのハイブリッド治療、足部潰瘍に対する血流評価、VAC療法（持続陰圧吸引療法）なども行っています。

その他、胸郭出口症候群に対する治療、悪性腫瘍手術時の血管合併切除、頸動脈、下腿動脈外傷の修復術も施行しました。今後は、本邦ではほとんど行われていない動脈閉塞症に対するremote endarterectomy（非直視下血栓内膜除去術）なども行っていく予定です。

<静脈疾患>

下肢静脈瘤は70歳以上では多かれ少なかれ70%以上の有病率がありますが、長期間にわたる経過であることが多く、受診率が低いのが現状です。ラジオ放送や講演会などで啓蒙活動を

行い、受診時には単純3D-CTで表在静脈の可視化をし、エコー検査を行って疾患の理解のもとに治療をしています。日帰り手術や短期入院に努め、大伏在静脈ストリッピング手術（神経損傷を防ぐためにInvisiGripや静脈内翻式ストリッパーを使用）、瘤切除術（小穿孔孔よりの静脈フックを使用した摘出術）、フォーミング硬化療法を積極的に行いました。また6月からはレーザーによる大伏在静脈焼灼術も取り入れる予定となっています。

その他、深部静脈血栓症に対する膝窩静脈からのカテーテルを使用した急性期血栓溶解療法にも対応する準備ができています。

<ブラッドアクセス>

透析導入のためのブラッドアクセス作成術はもちろんのこと、静脈狭窄に対する炭酸ガス造影や超音波ガイド下血管形成術（PTA）、シャント静脈瘤切除を施行。またシャント形成術は静脈路閉塞に対するバイパス血管移植術などをトラブル発生前より積極的に行い、良好な成績を得ています。特にシャント過血流（high flow）による静脈高血圧、そして心不全、脳血流の盗血症候群などに対しては、シャント血流の低減手術（flow reduction）も積極的に行ないシャント機能の維持に努めています。またアクセス困難例に対して上腕動脈や鎖骨下動静脈からの穿刺用人工血管留置術、動脈—動脈シャント、パーマネントカテ留置術などの治療を行いました。

近年の高齢化、食生活の変化、また糖尿病、腎不全患者の増加に伴い動脈硬化性疾患は大幅に増加しています。末梢血管疾患患者の約3-4割に脳血管、心血管疾患を合併し、また逆も然りで今後とも増々症例が増加することが考えられます。獨協医科大学本院、そして獨協医科大学日光医療センターともタイアップして、今後とも心臓疾患同様、血管疾患の治療も積極的に行っていきたいと考えています。

獨協医科大学病院 ハートセンターからのお知らせ

1. 各種問い合わせおよび相談

連携医の先生方からの循環器疾患に関するお問い合わせ、患者さんの診察依頼、入院依頼などは下記にご連絡下さい。夜間、休日は心臓・血管内科、循環器・腎臓内科、心臓・血管外科それぞれの当直医が担当させていただきます。

心臓・血管内科 : Tel 0282-87-2146 Fax 0282-86-5633
E-mail 1nai@dokkyomed.ac.jp

循環器・腎臓内科 : Tel 0282-87-2149 Fax 0282-86-1596
E-mail junnai@dokkyomed.ac.jp

心臓・血管外科 : Tel 0282-87-2301 Fax 0282-86-6390
E-mail cvs@dokkyomed.ac.jp

2. ハートセンター外来担当表 (外来棟1Fの赤色ブースに集約されています)

心臓・血管内科		月	火	水	木	金	土
心臓・血管内科	午前	阿部教授 菊地准教授 西 医員 北川医員	井上教授 豊田准教授 有川講師 那須野医員 荻野医員	阿部教授 鈴木講師(隔週) 天野講師 景山医員(午後) 正和医員 (睡眠医療センター) 有川講師	田口准教授 菊地准教授 豊田准教授 上嶋講師 戸倉医員	田口准教授 大谷医員 伊波医員 西田医員 (睡眠医療センター) 有川講師	西山医員
	午後	(虚血性外来) 阿部教授	(心不全外来) 有川講師 (不整脈外来) 上嶋講師	(肺血栓外来) 天野講師	(心不全外来) 豊田准教授 (pacemaker) 上嶋講師 北川医員	(虚血性外来) 田口准教授	
循環器・腎臓内科		月	火	水	木	金	土
循環器・腎臓内科	午前	堀中教授 長田准教授 八木准教授 福嶋医員	小林准教授 本多講師 里中講師 柴田医員	堀中教授 小林准教授 石村講師 松橋医員	石光教授 八木准教授 本多講師 小口医員 (高血圧外来) 長田准教授(1.5週) 里中講師(2~4週) (腹膜透析外来) 中野医員 (pacemaker) 轟 医員(1.3.5週) 松橋医員(1.3.5週)	石村講師 轟 医員 中野医員 武島医員 (再生医療外来) 小林准教授 (pacemaker) 松橋医員(2.4週) 鈴木医員(2.4週)	石光教授 交代制
	午後						
心臓・血管外科		月	火	水	木	金	土
心臓・血管外科	心臓外来	堀 医員	柴崎講師	福田教授 山田准教授 堀 医員	権 講師	栞田医員	交代制
	血管外来	緒方講師(午後) 堀 医員	柴崎講師	福田教授 山田准教授 松下講師	権 講師	栞田医員	交代制

緊急の場合は上記以外でも診察させていただきます。それぞれの外来へ直接電話してお問い合わせ下さい。

心臓・血管内科 : 0282-87-2191

循環器・腎臓内科 : 0282-87-2195

心臓・血管外科 : 0282-87-2206

今後とも先生方との連絡を密にしながら診療に取り組む所存ですのでよろしくお願いいたします。

編集後記

年度が改まり新人の入局、人事異動などもあり何かと希望に胸膨らみウキウキする季節がやっけてまいりましたが、今年は桜の開花が早すぎ大学入学式前には葉桜になるという異常気象が多い今日この頃でもあります。ハートセンターも3年目になりゆっくりではありますが、進化を続けております。今回のニュースでは新たに始まった北関東初の心不全に対する和温療法と、栃木・北関東には専門医の少ない血管外科領域の治療についてご紹介させていただきました。冠動脈疾患を含めた心疾患の診断に威力を発揮する320例C Tも導入されそのご紹介も考えておりましたが、原稿が間に合わず次回に乞うご期待ということでお許し頂きたいと思っております。

(H.F.)



高親和性AT₁レセプターブロッカー 薬価基準収載

オルメテック錠

5mg 10mg
20mg 40mg

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
一般名／オルメサルタン メドキシミル

※効能・効果、用法・用量および禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）



第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2012年10月作成

Biotherapies for Life™ **CSL Behring**



特定生物由来製品 処方せん医薬品[※]
生理的組織接着剤

ベリプラスト P コンビセット 組織接着用

Beriplast P Combi-Set Tissue adhesion 薬価基準収載

注）注意—医師等の処方せんにより使用すること

特定生物由来製品 処方せん医薬品[※]
シート状生物学的組織接着・閉鎖剤

タコシール 組織接着用シート

TachoSil Tissue Sealing sheet 薬価基準収載

注）注意—医師等の処方せんにより使用すること

★効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売店先：
CSLベリンク株式会社 くすび相談窓口
〒135-0082 東京都江東区豊洲一丁目7番12号
TEL: 0120-634-587 FAX: 03-3534-9861

製造販売元（輸入）：
CSLベリンク株式会社
東京都江東区豊洲一丁目7番12号
TEL: 03-3534-9861

2012年10月作成



astellas

血漿分画製剤（生体組織接着剤） 薬価基準収載

ボルヒール組織接着用

献血

特定生物由来製品、処方せん医薬品
（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

BOLHEAL

■【効能・効果】 【用法・用量】 【禁忌を含む使用上の注意】等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

販売 **アステラス製薬株式会社**
東京都板橋区足尾3-17-1
【資料請求先】 本社／東京都中央区日本橋本町2-3-11

一般財団法人
販路販売 **化学及血清療法研究所**
【資料請求先】 医薬管理課／橋本市北区大塚一丁目6番1号

2012年6月作成



選択的DPP-4阻害剤／糖皮质激素 薬価基準収載

Januvia

25mg
50mg
100mg

ジャヌビア錠

【シタグリプチンリン酸塩水和物錠】

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元（資料請求先）
MSD株式会社
〒102-8067 東京都千代田区千代田1-13-12 車の丸スクエア
<http://www.msdd.co.jp/>

2011年6月作成
JAN11AD013-0616

【効能・効果】、【用法・用量】、【用法・用量に関連する使用上の注意】、【禁忌を含む使用上の注意】等については、製品添付文書をご参照ください。